

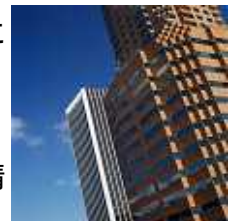
# Lina LOHAS通信



前回のLina LOHAS通信で、「2008年のエコライフはどうなるでしょう…?」ということで、パリ、ロンドンなどのエコ活動のほんの一例をご紹介しましたが、今回はミラノ、ベルリンでのエコ活動をご紹介します。



ミラノでは、植物で埋め尽くされたビルを建てようという「垂直の森計画」が考えられているそうです。水の上にヴェネツィアを建設したあっぱれなイタリア人、今度は110m 2 3階建て、76m 2 1階建ての2棟のビルのバルコニーに、ふんだんに植物を植え、ミラノのガルバルディ駅のすぐそばに総面積7000平方メートルの“森”を創出しようということです。2011年頃の完成を目指す都市緑化プロジェクトなのだといいます。「垂直の森」の基本構造は、各フロアの外周に植物の大きさを計算したプランター状のスペースを設置し、植物を繁殖させるというものです。屋上の風車による風力発電、側面に設置したパネルによるソーラー発電、地熱発電、雨水と排水の浄化で得られた水を汲み上げて水やりを使用・・・など、エネルギー自給体制も万全です。森が、横ではなく縦になるとは、素晴らしいアイデアですね。



さて、ベルリン中心部では2008年1月1日から、「環境ゾーン」という、市内への自動車乗り入れ規制が導入されました。車両は有害物質でカテゴライズされ、環境ゾーンで運転する車の持ち主は、“環境ワッペン”を購入する義務があります。そのワッペンを、フロントガラスに貼り付けることで、指定エリアに入ることができるのです。特に、ディーゼル車は環境ゾーンに入れず、排気ガス浄化装置が必要な車もあります。CO2削減だけでなく、“PM10”と呼ばれる大気中の粒子物質を抑え、喘息や血液循環悪化などの原因をなくすためでもあります。

このように今、各国で『環境問題』について議論が交わされ、ルール作りに懸命になっています。非常に良いことですが、本当の環境問題の解決には、私たち一人一人の“人心改革”が必要なのではないかと思います。私たち人類が、本当に気付かねばならないことは、この環境問題を生み出したのは、私たち人間一人一人の“心気の汚染”なのではないかということです。私たちの住んでいる地球は、地球を取り巻く宇宙から切り離された単独の存在ではないのです。広大な大宇宙も小宇宙も、地球も自然界も人間も、人間自身が造ったものは何ひとつもない・・・ということなのです。人間一人一人の気=意識改革をし、心気の汚染を浄化することが最優先すべきことではないでしょうか。



リナ グリーン  
Lina Green  
TEL 054-205-0308  
HP <http://www.linagreen.com>

